

親子聖書日課

NO.1457 2016.8/28-9/3

名前

[日]主は私達にとって最も愛すべき方ですから、「出会う備え」をするのは当たり前です。この備えとは、悪を離れ、罪を捨て悔い改めて、主を受け入れることです。すると交わりが深まり、祝福に与れます。今、主に出会う備えはできていますか。

[月]民は沢山のものを献げたら、主に祝福されると思い込みました。自分のやり方で主を喜ばせようとした。しかし、主の願っておられるのは、主に何かをすることではなく、へりくだって「主を求めて生きる」ことです。主の御心を求めよう!

[火]まったく自分の罪深さを省みないのは、「安逸をむさぼる者」です。主の十字架の苦しみをみると、安閑としてはいられません。主が命を捨てて下さった、その大きな愛に応えて、日々自分に与えられた十字架を負って、主に従いましょう。

[水]とりなしの祈りは、主の思いを踏みとどまらせるほど大きいものです。「主よ、彼を赦して下さい」とアモスのように祈りましょう。最終的には、本人が悔い改めてこそ救われますが、祈りは神と人の心を動かしますから、祈り合いましょう。

[木]今日、心の豊かさが叫ばれながら、御言葉を求めて教会に来る人は少ないですね。御言葉を聞くことのできない飢饉の時代です。「御言葉は魂を救うことができます」ヤコブ1:21から、積極的に伝えるなら、信じる人が起こされるでしょう。

[金]人生には修復不可能と思える事態に陥ることがありますが、心配無用です。今も主が「その破れを修復し、廃墟を復興して昔のように建て直して下さい。主に委ねて、主の御声に聴従しましょう。必ず、実り豊かな人生に回復されます。

[土]聖書中で最も短いオバデヤ書。エドムはエサウの子孫でイスラエルと兄弟関係にありましたが、敵対していました。それはエドムの傲慢な心が原因でしたから、主は裁かれます。人に対して愛心を持つ為に、主の十字架の赦しを頂きましょう。



	聖書	問題	答え
日	アモス 4:1-13	お前は自分の神と出会う何をすべきですか。	
月	5:1-27	誰を求めて、生きるべきですか。	
火	6:1-14	サマリヤの山で何をむさぼる者らは、災いですか。	
水	7:1-17	主はこれをどうされ、「この事も起こらない」と言われましたか。	
木	8:1-14	主の言葉を聞くことのできぬ何と何ですか。	
金	9:1-15	主は昔の日のようにどうしてくれますか。	
土	オバデヤ 1-21	お前は自分のどんな心に欺かれていましたか	

感想と祈りの課題
